

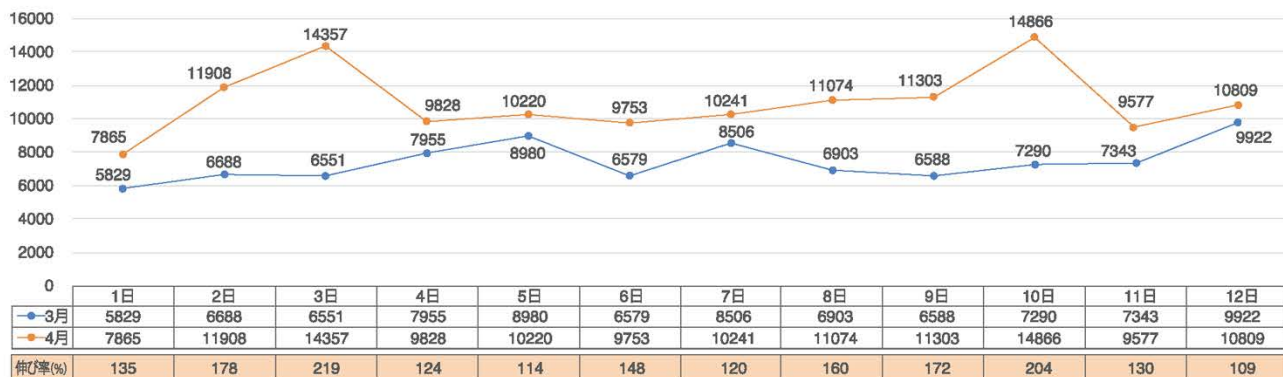
クルマSNSサイト「みんなのカーライフ」に、キーパープロショップブログページ開設!

キーパープロショップブログへのアクセス数も上昇中!

【キーパープロショップブログPV数^{※1}の推移】※1…PVは「ページビュー(Page View)」の略称。Webサイト(Webサイト内)の閲覧されたページ回数を表します。同じ人が複数回ページを見ててもカウントされます。

3・4月のPV数比較

3月1日~12日:キーパープロショップページPV数
4月1日~12日:キーパープロショップページPV数+「みんなのカーライフ」のキーパープロショップページPV数



4月1日より、「みんなのカーライフ」に「キーパープロショップブログ」ページを開設。4月1日~12日と、「みんなのカーライフ」ページが開設されていなかった3月1日~12日とのアクセス数を比較したところ、3月1日は5829PV、4月1日は7865PV、その伸び率は135%と上昇。その後も伸び率を上げ、4月10日には204%に達しました。

4月より、日本最大級のクルマSNSサイト「みんなのカーライフ」にキーパープロショップブログのページを開設いたしました。これまでと同様にブログを書いていただくと、キーパープロショップサイトだけでなく、この「みんなのカーライフ」のキーパープロショップブログページにもアップされます。さらに更新するたびに「みんなのカーライフ」ブログページトップのブログ一覧にも表示されます。「みんなのカーライフ」キーパープロショップページオープン後、キーパープロショップブログのアクセス数は非常に増えています(上表参照)。

「みんなのカーライフ」の月間ユニークユーザー(UU)数^{※2}は約900万。キーパーコーティングを知っている人、知らない人、より多くのユーザーに届けることができます。今後もキーパープロショップブログをぜひ活用ください。

※2…UUは「ユニークユーザー(Unique User)」の略称。Webサイト(Webサイト内)を訪問した人の数を表します。複数回ページを見てても同一人物の場合カウントされません。

【キーパープロショップブログページトップ】



【ブログページトップ】



更新すると、「New」マークがついて、こちらにも表示されます。

「みんなのカーライフ」とは? <https://minkara.carview.co.jp/>

日本最大級のクルマSNSサイトで、クルマに興味のあるユーザーが集まり、情報の発信や交換をすることによって生まれるパーツレビュー・整備手帳・燃費記録・クルマレビュー・ブログ・カタログ等、クルマに関する様々な情報が、日々蓄積されている巨大な「カーライフデータベース」サイトです。

「みんなのカーライフ」月間平均PV数:

3億5,690万 PV/月

「みんなのカーライフ」月間平均UU数:

903万 UU/月

SUPER GT 2019

予選LEXUS勢トップも、決勝は雨で途中終了、悔しくも不完全燃焼、リベンジはGWの富士で!!

平川亮選手&ニック・キャンディ選手の最強コンビ、3年目のシーズン

37号車「Keeper TOM'S」が得意とする岡山国際サーキットにて2019年SUPER GTが開幕戦を迎えた。TOM'Sチームとしての参戦は7年目のシーズンを迎える。

2014年から連続表彰台フィニッシュの中、優勝3回、2位1回、3位1回とここ6年は圧倒的強さを発揮している。

エースの平川亮選手が、10代のジュニアフォーミュラ時代から走り込んでいるということも戦績に如実に現れ、チームメイトのニック・キャンディ選手もタイヤの温まっっていないスタートからアグレッシブな走りを見せる。この最強コンビも3年目のシーズンを迎える。

LEXUS勢、苦戦!!

37号車が唯一予選Q2進出を果たす

気温16℃、路面温度25℃と朝晩は冷え込むが日中は穏やかな天候の中、迎えた公式予選、午前中に行われたフリー走行からLEXUS勢は大苦戦、GT500の順位表の下位にLEXUS勢が集中するという近年まれにみる劣勢からのスタートとなった。

劣勢のフリー走行の流れそのまま、LEXUS全車予選Q1落ちか?と心配した矢先、37号車の平川選手が渾身のアタック、LEXUS勢6台の中で唯一1台だけ、8番手で予選Q2進出を果たす。

予選Q2のステアリングを握ったニック・キャンディ選手もライバルの速さに圧倒されながら、何とか平川選手よりも0.2秒縮めるが、ライバルのトップタイムからは1秒以上も離されて万事休す、8番手で予選終了となった。

相次ぐクラッシュ、中断…。レースは中止に

一転、曇天で迎えた決勝日、午前中から少しずつ降りだした雨は、一時的に止んだりするものの、やがて本降りとなった中、決勝スタートの時刻を迎えた。

路面にたまった雨を少しでもなくし、タイヤを温める時間のためにセーフティカー



先導でのスタートとなり、4周周回時に正式スタートが切られた。

雨脚は強くなる一方のスタート直後にGT300クラスのマシンがクラッシュ、1度目のセーフティカー導入となる、車両の回収が終了した10周目に再スタート、雨脚は衰えぬまま走行を再開したが、直後の13週目にまたもGT300クラスの多重クラッシュが発生、コース上を数台のクラッシュ車両がトラックを塞いでしまう形になってしまい、赤旗にてレースは中断となる。

20周目にクラッシュ車両の回収を終えコースクリアとなるが、直後の24周目にまたしてもクラッシュ発生、その後セーフティカーでの走行を終え、セーフティカー先導の中、レースは再開すると思われたが、雨脚が衰える気配もなく32周目に正

式に中止が発表された。

ポイントゲットならず。

第2戦、富士で必ずリベンジ!!

セーフティカー走行中にスピンしてしまった、ニック・キャンディ選手はGT500クラス最後尾まで順位を落としてしまう。しかし何とか12位まで順位を挽回したところで決勝レース終了。連続表彰台はおろかポイントも稼げず。

次戦は、5月3日(公式予選)、4日(決勝)、富士スピードウェイで開催される500kmレース。ゴールデンウィーク中の開催で、シーズン中、とにかく一番の盛り上がりを見せる大会です。ぜひサーキットへお越しください!!LEXUSのホームコース富士で絶対リベンジ!

